



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL http://www.nicho.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹 TEL 03-6810-0800
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	48,895	13.4	2,052	133.6	1,896	150.8	1,221	316.9
27年3月期第1四半期	43,133	8.6	878	△18.0	756	△20.1	293	△22.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,281百万円 (416.6%) 27年3月期第1四半期 248百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	174.21	-
27年3月期第1四半期	40.31	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	139,535	18,669	13.4
27年3月期	130,141	17,635	13.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 18,669百万円 27年3月期 17,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	35.00	-	35.00	70.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	40.00	-	22.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金は44円00銭、合計では84円00銭となり、実質的に4円00銭の増配となります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,980	12.1	2,926	11.6	2,553	10.2	1,195	3.3	85.26
通期	207,523	14.1	8,200	23.4	7,434	23.8	3,583	29.0	255.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期第2四半期累計期間の1株当たり当期純利益は170円52銭、平成28年3月期通期の1株当たり当期純利益は511円09銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	8,012,000株	27年3月期	8,012,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,000,894株	27年3月期	1,000,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	7,011,313株	27年3月期1Q	7,268,776株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、T D n e tにて8月4日に開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月～6月)において、政府の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針)2015」が6月に公表され、社会保障関係費の伸びの抑制が“主要分野ごとの改革の基本方針と重要課題”として掲げられました。具体的には、ジェネリック医薬品に係る数量シェアの目標値について“平成30年度から平成32年度末までのなるべく早い時期に80%以上とする”との新たな目標が盛り込まれる一方で、“かかりつけ薬局の推進のため、薬局全体の改革について検討する”ことなどが明記され、医薬品・調剤薬局業界を取り巻く環境は大きな転換点を迎えるようとしております。このような状況のもと、当社グループでは、本年4月より新中期経営計画(期間:平成28年3月期から平成30年3月期)をスタートさせ、大きな環境変化を乗り越え、さらなる飛躍に向けた強固な企業基盤を構築すべく、各事業間の連携を強化し事業の推進に取り組んだ結果、全てのセグメントにおいて増収増益の実績をあげることができました。具体的な数値につきましては、以下のとおりであります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高48,895百万円(前年同期比13.4%増)と増収となりました。利益面においては、営業利益2,052百万円(同133.6%増)、経常利益1,896百万円(同150.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,221百万円(同316.9%増)と大幅な増益となりました。なお、平成28年3月期第2四半期(4月～9月累計)連結業績予想の営業利益に対する進捗率は70.1%となっております。

事業の種類別業績概要は以下のとおりであります。

①調剤薬局事業

同事業では、当第1四半期連結累計期間において6店舗を新規出店し、5店舗を閉局いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末時点での総店舗数は512店舗(物販専業1店舗を含む)となりました。同事業の業績は、売上高42,322百万円(前年同期比12.7%増)となりました。これは、既存店が堅調に推移したことに加え、昨年後半に発売されたC型肝炎治療薬の処方箋応需が、当社が主力とする大型門前店舗において大きく増加したことなどが主な要因です。一方、利益面においては営業利益2,015百万円(同69.3%増)となりました。これは、売上高増加による増益及び各種経費の抑制に加え、ジェネリック医薬品の使用促進並びに在宅医療への取り組みの強化などによる調剤報酬の増加などが主な要因です。

②医薬品製造販売事業

同事業では、当第1四半期連結累計期間において、大病院をはじめ各医療機関におけるジェネリック医薬品の使用が引き続き増加傾向にあることに加え、グループ会社間の連携を一層進めたことにより、売上高は7,702百万円(前年同期比18.4%増)と増収となりました。利益面においても、売上高増加による増益及び各種業務の効率化の推進などにより、営業利益589百万円(同78.7%増)と大幅な増益となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末での販売品目数は、6月に新製品19品目を発売したことにより576品目となりさらに充実いたしました。

③医療従事者派遣・紹介事業

同事業では、近年薬剤師の業務が増加し派遣・紹介の需要が引き続き拡大しつつある状況を背景に、派遣・紹介先の新規開拓による求人数の増強及び登録者数の確保などの取り組みを着実に進めることができました。これらの取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は2,087百万円(前年同期比39.2%増)、営業利益は441百万円(同34.9%増)と引き続き高い水準での増収増益実績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は139,535百万円となり、前連結会計年度末に対して9,394百万円、7.2%増加いたしました。流動資産は68,869百万円となり、前連結会計年度末に対して8,772百万円、14.6%の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金、商品及び製品の増加等であります。固定資産は70,666百万円となり、前連結会計年度末に対して622百万円、0.9%の増加となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加、建設仮勘定の減少等であります。

負債は120,866百万円となり前連結会計年度末に対して8,360百万円、7.4%の増加となりました。主な要因としては、買掛金の増加等であります。

純資産は18,669百万円となり前連結会計年度末に対して1,034百万円、5.9%の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日に公表いたしました平成28年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,952	19,971
受取手形	321	246
売掛金	20,001	20,254
電子記録債権	1,091	801
商品及び製品	15,911	18,000
仕掛品	1,377	1,090
原材料及び貯蔵品	3,778	4,498
その他	3,672	4,015
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	60,096	68,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,648	20,795
土地	17,043	17,126
建設仮勘定	4,798	2,108
その他(純額)	8,329	9,549
有形固定資産合計	48,819	49,580
無形固定資産		
のれん	8,661	8,501
その他	1,714	1,660
無形固定資産合計	10,376	10,162
投資その他の資産		
投資有価証券	1,153	1,223
敷金及び保証金	6,990	7,039
その他	2,704	2,661
投資その他の資産合計	10,848	10,924
固定資産合計	70,044	70,666
資産合計	130,141	139,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,306	36,955
電子記録債務	2,086	1,760
短期借入金	5,100	4,800
1年内返済予定の長期借入金	6,069	5,288
未払法人税等	1,625	1,342
賞与引当金	2,080	1,130
役員賞与引当金	98	-
売上割戻引当金	130	167
その他	4,977	7,354
流動負債合計	53,474	58,799
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	46,184	49,317
役員退職慰労引当金	886	908
退職給付に係る負債	917	957
その他	4,042	3,883
固定負債合計	59,031	62,066
負債合計	112,505	120,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	11,868	12,844
自己株式	△3,059	△3,062
株主資本合計	17,515	18,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	380
退職給付に係る調整累計額	△213	△200
その他の包括利益累計額合計	119	179
純資産合計	17,635	18,669
負債純資産合計	130,141	139,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	43,133	48,895
売上原価	36,005	40,136
売上総利益	7,127	8,759
販売費及び一般管理費	6,248	6,706
営業利益	878	2,052
営業外収益		
受取手数料	29	33
受取賃貸料	66	94
その他	60	48
営業外収益合計	157	176
営業外費用		
支払利息	200	197
支払手数料	7	7
支払賃借料	33	68
その他	37	58
営業外費用合計	279	332
経常利益	756	1,896
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	757	1,896
法人税、住民税及び事業税	592	1,046
法人税等調整額	△128	△371
法人税等合計	464	675
四半期純利益	293	1,221
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	293	1,221

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	293	1,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	47
退職給付に係る調整額	12	13
その他の包括利益合計	△44	60
四半期包括利益	248	1,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248	1,281
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,544	4,360	1,227	43,133	-	43,133
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2	2,146	271	2,419	△2,419	-
計	37,546	6,506	1,499	45,552	△2,419	43,133
セグメント利益又は損失(△)	1,190	330	327	1,847	△968	878

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△968百万円にはセグメント間取引消去△11百万円及び全社費用△957百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	42,320	4,748	1,826	48,895	-	48,895
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	2,954	260	3,216	△3,216	-
計	42,322	7,702	2,087	52,112	△3,216	48,895
セグメント利益又は損失(△)	2,015	589	441	3,046	△994	2,052

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△994百万円にはセグメント間取引消去△84百万円及び全社費用△909百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式の分割

当社は、平成27年7月30日開催の取締役会において、株式の分割を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性を高めて、投資家の皆様に、より投資し易い環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成27年9月30日(水)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	8,012,000株
今回の分割により増加する株式数	8,012,000株
株式分割後の発行済株式総数	16,024,000株
株式分割後の発行可能株式総数	44,192,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	平成27年9月11日(金)
基準日	平成27年9月30日(水)
効力発生日	平成27年10月1日(木)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円15銭	87円10銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. その他

今回の株式の分割に際して、資本金の額の変更はございません。